ONKYO

ドック ミュージック システム

# SBX-200

## 取扱説明書


安全上のご注意 2

はじめに 6

本機の概要 8

iPodから再生する 9

Bluetoothで接続して再生する 11

他の外部機器から再生する 12

困ったときは 13

仕様 13

その他 14


Made for iPod iPhone iPad

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

**カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。**

Ja

## 安全上のご注意 ※安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

**電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。**
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

**「警告」と「注意」の見かた**
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
| ⚠注意 | 誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。 |

**絵表示の見かた**

△ 記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⃠ 記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

● 記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

ACアダプタをコンセントから抜く

必ずする

### ⚠警告

**故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに AC アダプタを抜く**

ACアダプタをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに AC アダプタをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

### ⚠警告

**分解、改造しない**

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

**接続、設置に関するご注意**

**■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない**

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない

**AC アダプタに関するご注意**

**■AC アダプタを傷つけない**

禁止

- AC アダプタの上に重い物をのせたり、AC アダプタが機器などの下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

AC アダプタが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

**■AC アダプタは定期的に掃除する**

必ずする

AC アダプタにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。AC アダプタを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

**■AC アダプタに布や布団をかぶせない**

禁止

熱がこもり火災の原因となります。

## ⚠ 警告

### 使用上のご注意

**■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない**

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**■雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、AC アダプタに触れない**

感電の原因となります。

**■心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない**

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。

**■病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では本機を使用しない**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

**■他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

**■ボタン電池は、小さなお子様の手の届かないところへ置く**

小さなお子様が誤って飲み込むと大変危険です。お子様の手の届かない所へ保管してください。万一飲み込んだ可能性がある場合、大至急医師に相談してください。

## ⚠ 注意

### 接続、設置に関するご注意

**■不安定な場所や振動する場所には設置しない**

ぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下して、けがの原因となることがあります。

## ⚠ 注意

**■配線コードに気をつける**

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

### AC アダプタに関するご注意

**■表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する**

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

**■AC アダプタのコードを束ねた状態で使用しない**

発熱し、火災の原因となることがあります。

**■AC アダプタを抜くときは、コードを引っ張らない**

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
AC アダプタ本体を持って抜いてください。

**■長期間使用しないときは AC アダプタをコンセントから抜く**

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

**■AC アダプタは、コンセントに根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

**■ぬれた手で AC アダプタを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

**■ お手入れの際は AC アダプタを抜く**

お手入れの際は、安全のため AC アダプタをコンセントから抜いて行ってください。

### 移動時のご注意

**■ 移動時は AC アダプタや接続コードをはずす**

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

**■ 本機のお手入れについて**

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

**音のエチケット**

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、音量を調節しましょう。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

**ご注意**

**AC アダプタは、必ず本機に付属の AC アダプタをお使いください。他の AC アダプタをご使用になると SBX-200 の故障の原因となります。また、本機に付属の AC アダプタは SBX-200 専用です。他の機器に接続して使うことは絶対にしないでください。**

**電波について**

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解 / 改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

**2.4 :** 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
**DS :** DS-SS 変調方式を表します。
**FH :** FH-SS 変調方式を表します。
**4 :** 与干渉距離は 40m です。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
  重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
- 次の場所では本機を使用しないでください。
  ノイズが出たり、音が途切れて通常のご使用ができないことがあります。
  - 2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
    電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
    音声や映像にノイズがのることがあります。

本機を使用する周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業･科学･医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。混信回避のための処置等については、コールセンター（本書裏表紙に記載）へご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コールセンター（本書裏表紙に記載）へお問い合わせください。

すべての Bluetooth 機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。一部の国では、Bluetooth 対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth 対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

電力やその他の安全に関する情報については、本機の底面の定格ラベルを参照してください。

Bluetooth®
QDID:B018248

iPad、iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「Made for iPod」、「Made for iPhone」、「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone、iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
この製品と iPod、iPhone、iPad を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

ご注意

**– 設置に関するご注意**

- 本機は、水平で乾燥した適切な温度の場所に設置してください。適切な温度は 5° C ～ 35° C です。
- 本機の内部に熱がこもらないように、通気性の良い場所にに設置してください。
- 本機とテレビとの間には十分な間隔をおいてください。
- テレビによる干渉を避けるために、本機はテレビから離して設置してください。

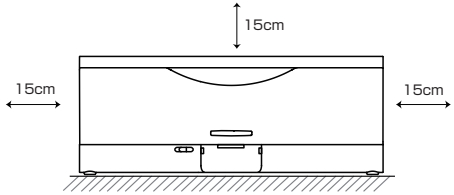
ご注意

**– 換気に関するご注意**

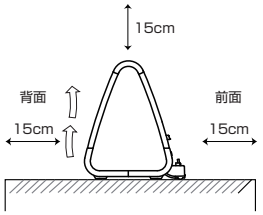
火災・感電の原因とならないよう、また損傷を防ぐために、本機は以下のように設置してください。

**前面 :** 障害物を置かずスペースを設けてください。
**側面 / 天面 / 背面 :** 下記の範囲内には障害物を置かないでください。
**床面 :** 水平で安定した場所に設置してください。

**前面 :**




**側面 :**



# 目次


**はじめに** ..... **6**
箱の中身を確かめる ..... 6
リモコンの使い方 ..... 6
電池の交換 ..... 7
AC アダプタを接続する ..... 7
**本機の概要** ..... **8**
前面パネル ..... 8
側面パネル ..... 8
リモコン ..... 9
**iPod から再生する** ..... **9**
本機に iPod をセットする ..... 9
iPod を再生する ..... 10
iPod を充電する ..... 10
**Bluetooth で接続して再生する** ..... **11**
アプリケーションをダウンロードする ..... 11
Bluetooth 対応機器から音声を再生する ..... 11
iPad 用スタンドを使う ..... 12
**他の外部機器から再生する** ..... **12**
**困ったときは** ..... **13**
**仕様** ..... **13**
**その他** ..... **14**
オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内 ..... 14
修理について ..... 15
製品保証書 ..... 16
ONKYO ユーザー登録のおすすめ ..... 18


* 本書では、文章や図で明記されている場合を除いて、「iPod」は iPod、iPhone、または iPad の機能を表す全般的な用語として使用されています。

# はじめに

## 箱の中身を確かめる

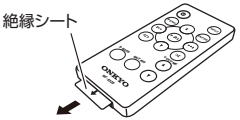
製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。

SBX-200　リモコン　AC アダプタ　電源コード　iPad 用クッション　iPad 用スタンド

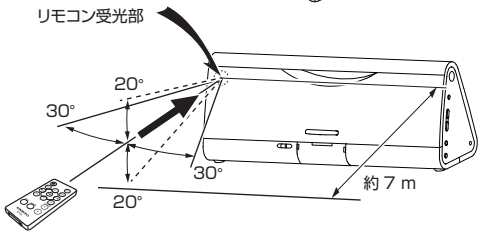
ご購入時、リチウムボタン電池（CR2025）はリモコンに装着されています。

## リモコンの使い方

**ご使用になる前に、絶縁シートを取り外してください。**




**約 7m 以内の距離で、リモコンを本機の前面にあるリモコン受光部に向けます。**




ご注意

故障を防ぐため、次の注意事項を読んで、リモコンを丁寧に扱ってください。

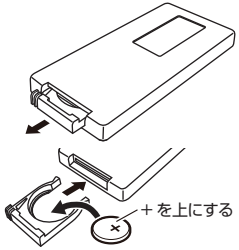
- リモコンを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。
- リモコンに水滴や液体がかからないようにしてください。
- リモコンを濡れた物の上に置かないでください。
- リモコンを直射日光が当たる場所や熱器具などに近い場所に置かないでください。

## 電池の交換

ご注意

電池を誤って交換すると、破裂の危険があります。
必ず同じ種類の電池と交換してください。

1. 電池ホルダーを外すには、ストッパーを押しながら引き出してください。電池ホルダーのすき間に指をかけて外すことができます。
2. 電池ホルダー上のプラス記号（+）にリチウム電池の極性表示を合わせます。
3. 新しい電池を入れたトレイを、カチッと音がするまで差し込みます。




**⚠ 危険**

電池の使用について

- 電池はお子様の手の届かない所へ保管してください。万一、飲み込んだ可能性がある場合、大至急医師に相談してください。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。
  電池は、他の金属製の物質と一緒に保管しないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電池を廃棄される場合は、テープなどで絶縁してください。発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電池をピンセットなどで挟まないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。
- 本製品では、過塩素酸物質を含む CR ボタン型リチウム電池を使用しています。取り扱いに十分ご注意ください。

! ヒント

長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れや腐食による損傷を防ぐために電池を取り出しておいてください。

## AC アダプタを接続する

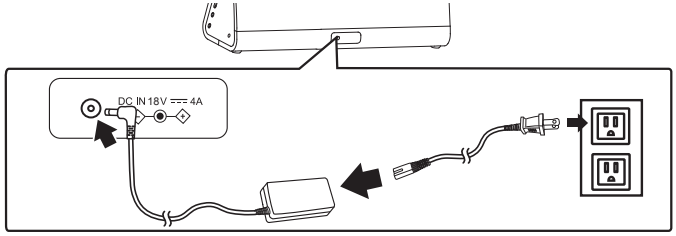
**⚠ 危険**

付属の AC アダプタを使用してください。

- 接続する前に、電源コンセントが本機の AC 入力（100 ～ 240V、50/60Hz）に対応していることを確認してください。

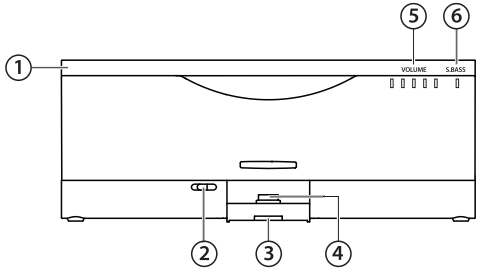
***1*** **AC アダプタを、本機の DC IN ジャックに差し込みます。**

***2*** **電源コードの一端を AC アダプタに差し込み、もう一方は、他のすべての接続が済んでからコンセントに差し込みます。**



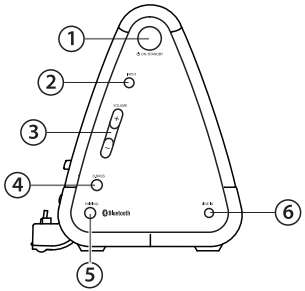
# 本機の概要

## 前面パネル



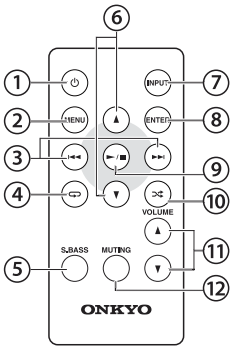

1. **ハンドル**
2. **ドッキングトレイスイッチ（SLIDE TO CLOSE）**
   スイッチをスライドさせるとドッキングトレイを閉じることができます。
3. **ソースインジケーター**
   いずれかのソースが選択されると点灯します。
   白色： iPod モード
   青色： Bluetooth モード
   緑色： LINE IN モード
4. **iPod コネクター**
5. **VOLUME インジケーター**
   音量を大きく / 小さくすると、5 つのレベルバーが 1 つずつ点灯 / 消灯します。消音のときは、点滅します。
6. **S.BASS インジケーター**
   「Super Bass」が有効になっている場合に点灯します。
   なし： オフ
   緑色： S.BASS 1
   橙色： S.BASS 2

## 側面パネル



1. **ON/STANDBY ボタン**
2. **INPUT ボタン**
   iPod モード、Bluetooth モード、LINE IN モード間の切り替えを行います。
3. **VOLUME ボタン**
   押すと、音量が大きく（+）または小さく（−）なります。
4. **S.BASS ボタン**
   「Super Bass 1」または「Super Bass 2」を有効にします。
5. **PAIRING ボタン**
   Bluetooth 対応機器との Bluetooth 接続を確立します。
6. **LINE IN ジャック**
   ステレオミニケーブル（別売り）を使って、外部機器の接続に使用します。

## リモコン

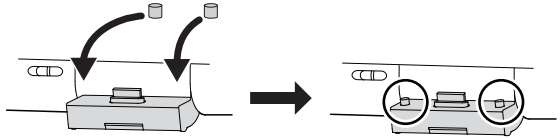



1. ⏻ **（On/Standby）ボタン**
スタンバイモードと電源オンモードを切り替えます。
2. **MENU ボタン**（iPod モードでのみ使用）
iPod の画面で直前のメニューに戻ります。
3. ⏮ **（前）** / ⏭ **（次）ボタン**
iPod で前または次のトラックの頭出しをします。早戻し / 早送りは、再生中に ⏮ または ⏭ を長押しします。
4. 🔁 **（リピート）ボタン**（iPod モードでのみ使用）
1 つのトラックまたは全トラックを繰り返し再生します。
5. **S.BASS ボタン**
「Super Bass 1」または「Super Bass 2」を有効にします。
6. **▲（上）** / **▼（下）ボタン**（iPod モードでのみ使用）
iPod モードでカーソルを上下に移動させます。
7. **INPUT ボタン**
iPod モード、Bluetooth モード、LINE IN モード間の切り替えを行います。
8. **ENTER ボタン**（iPod モードでのみ使用）
iPod モードで選択を確定します。
9. **▶/II（再生 / 一時停止）ボタン**
トラックの演奏時に、トラックを再生 / 一時停止します。
10. 🔀 **（シャッフル）ボタン**（iPod モードでのみ使用）
iPod で再生中にシャッフルモードを選択します。
11. **VOLUME ▲（+）** / **▼（−）ボタン**
音量を大きく（+）または小さく（−）します。
12. **MUTING ボタン**
消音機能をオンにします。もう一度押すと音声が出力されます。
消音のときは、ボリュームインジケーターが点滅します。

# iPod から再生する

ご注意

iPadをご使用される場合、付属のiPad用クッションを取り付けてください。

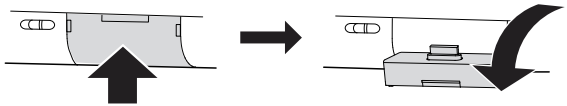


クッションは、お子様の手の届かない所へ保管してください。万一飲み込んだ可能性がある場合、大至急医師に相談してください。

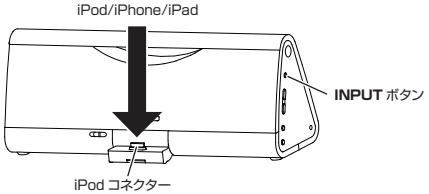
## 本機に iPod をセットする

- **対応している iPod/iPhone/iPad:**
iPod touch（第 1 世代、第 2 世代、第 3 世代、第 4 世代）
iPod classic、
iPod nano（第 2 世代、第 3 世代、第 4 世代、第 5 世代、第 6 世代）
iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、
iPad 2、iPad

***1*** **本機の前面にあるドッキングトレイの PUSH TO OPEN を押して、ドッキングトレイを開きます。**



**2 ご使用の iPod をトレイにセットします。本機の iPod コネクターが iPod のコネクターポートにしっかりと差し込まれていることを確認します。**

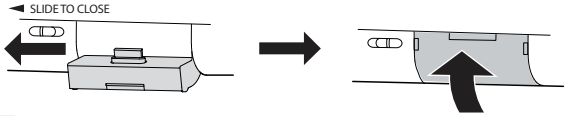



! ヒント

- ドッキングトレイが設置面から浮いていると、無理な力が加わり破損する恐れがあります。ドッキングトレイは、設置面に水平になるよう完全に開いてください。
- しっかりと接続するため、iPod をトレイにセットする前に iPod のケースまたはカバーを取り外してください。

ご注意

**ドッキングトレイが開いている状態で本機を前に傾けないでください。**
ドッキングトレイを使用していない場合は、損傷を防ぐために、トレイを閉じておいてください。
トレイを閉じるには、SLIDE TO CLOSE を矢印の向きに切り替えます。




! ヒント

- iPod をセットしたり取り外したりする際には、iPod を本機のコネクターと同じ角度にしてください。iPod を回転させたり倒したりすると、コネクターが損傷する恐れがあります。
- ドッキングトレイに iPod をセットした状態で本機を持ち運ばないでください。そうすると、誤動作の原因となります。
- iPod をセットしたり取り外したりする際は、ドッキングトレイをしっかりつかんでおいてください。
- iPod を取り外す前に、再生を停止してください。
- iPod のバッテリー残量が極端に少ない場合は、しばらく充電してから操作してください。
- iPod は電源が入っていないと動作しません。iPod の電源が入っていることを確認してから操作してください。

## iPod を再生する

**1 本機の ⏻ ボタンを押して本機の電源をオンにします。**

**2 本機が iPod モードになっていない場合は、本機またはリモコンの INPUT（インプット） ボタンを押して、iPod モードに切り替えます。**
- ソースインジケーターが白色に点灯します。

**3 曲の再生が自動的に始まります。**

## iPod を充電する

本機がコンセントに接続されている場合、iPod のバッテリーを本機から充電することができます。
- iPod をドッキングトレイにセットすると、充電が開始されます。
- 充電ステータスは iPod の画面に表示されます。
- AC アダプタが本機に接続されていることを確認してください。
- 本機で選択されている音声ソースに関係なく、iPod は充電されます。
- iPod の充電の詳細については、iPod の取扱説明書を参照してください。

! ヒント

**iPod の取り扱いについて**
- iPod の端子ピンやコネクターピンに直接触れたり、衝撃を与えたりしないでください。コネクターを損傷する恐れがあります。
- iPod で正常に再生できない場合には、iPod のソフトウェアを最新バージョンにアップデートしてください。ご使用の iPod のアップデートに関する詳細については、Apple 社の Web サイト <http://www.apple.com> で確認してください。

- iPod の形式や世代によっては、本機がスタンバイモード時に充電できない場合があります。このような場合は、本機の電源をオンにすると充電ができます。
- iPod は Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- iPhone は Apple Inc. の商標です。
- iPad は Apple Inc. の商標です。
- 本製品の使用により生じた iPod のデータ損失や損傷について、弊社は一切の責任を負いません。
- 録音レベルの高い音声ソースを再生すると、音声にひずみが発生する場合があります。ひずみが発生する場合には、iPod のイコライザーをオフにすることをお勧めします。iPod の操作については、iPod の取扱説明書を参照してください。

## Bluetooth で接続して再生する

### アプリケーションをダウンロードする

Bluetooth 接続を使用して iPad/iPhone/iPod touch から音声の再生を行える無料アプリケーションをご用意しております。ダウンロードしてご利用ください。

- OS のバージョン： 4.0 以上

iPad/iPhone/iPod touch と本機の間で Bluetooth 接続を確立すると、iPad/iPhone/iPod touch の画面に、アプリケーションのインストールを促すメッセージが表示されます。インストールをされる場合は、表示される内容に従ってインストールを進めてください。インストールが完了すると、ご使用の iPad/iPhone/iPod touch から再生を行うことができます。

### Bluetooth 対応機器から音声を再生する

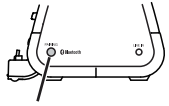
ヒント

- ご使用の携帯電話が A2DP プロトコルをサポートしている場合は、携帯電話内の音声ファイルを本機で再生することができます。
- 携帯電話、iPod、または他の Bluetooth 対応機器と Bluetooth 接続を確立できます。

**1** **⏻ ボタンを押して、本機の電源をオンにします。**

**2** **INPUT（インプット）ボタンを押して、Bluetooth モードに切り替えます。**
- ソースインジケーターが青色に点灯します。

**3** **本機の PAIRING（ペアリング）ボタンを押して、本機をペアリングモードにします。**
- ソースインジケーターが高速で点滅し始めます。
- ペアリングの処理中に PAIRING ボタンを 2 秒以上押し続けると、その処理が取り消されます。



PAIRING ボタン

**4** **ソースインジケーターが高速で点滅している間は、10m 以内の距離で携帯電話、iPod、または他の Bluetooth 対応機器を操作して、本機とのペアリングを行うことができます。**
- Bluetooth 接続を行う手順については、その機器の取扱説明書を参照してください。
- 本機をご使用される環境によっては、10 m以内でも正常に動作しないことがあります。その場合、本機に近づけて操作してください。

**5** **本機が検出されて、ご使用の Bluetooth 対応機器の画面に本機の機器名「SBX-200」が表示されたら、「SBX-200」を選択してください。パスワードを要求された場合、「1234」を入力してください。**
- ソースインジケーターの高速点滅は、本機とご使用の機器が接続モードに入ったことを表します。
- Bluetooth 接続の確立に成功すると、インジケーターは点灯に変わります。

**6** **ご使用の機器で、聴きたい音声ファイルを選択してから “▶/II（再生）” ボタンを押します。本機で、音声ファイルの再生が自動的に始まります。**
- ソースインジケーターが 2 分間点滅した後に点灯に変わった場合には、ペアリングに成功しなかったことを表しています。上記の手順 2 ～ 5 を再度実行してください。

! ヒント

Bluetooth のペアリングが終了したにも関わらず音声が出力されないときは、その機器の取扱説明書を参照して、音声出力先を「SBX-200」に選択してください。

ご注意

**Bluetooth 接続中の iPod がドッキングトレイに差し込まれた状態で、INPUT ボタンを押して iPod モードに切り替えた場合 ( ソースインジケータは白色に点灯します )、iPod からの音声が出力されない場合があります。**

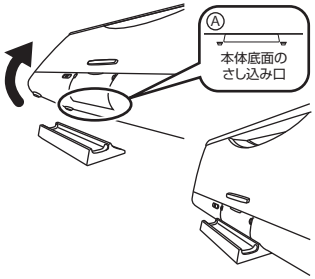
このような場合に、音声を出力するためには iPod またはミュージックアプリケーションを起動します。画面上の マークを押して「DOCK コネクタ」を選ぶと音声が出力されます。

### iPad 用スタンドを使う

1 **本機のドッキングトレイを閉じてください。**

2 **本機を少し浮かせて、付属のスタンドを図のように置いてください。**

3 **スタンドの突起部 2 か所が本体底面の差し込み口 Ⓐ にしっかり入るようにして、本機をゆっくり下げて設置してください。**




ご注意

スタンドが本体底面の差し込み口に入っていることを確認してから iPad を置いてください。

スタンドがしっかりと差し込まれていないと、iPad が滑り落ちて、iPad 本体を損傷する恐れがあります。

## 他の外部機器から再生する

ポータブルミュージックプレーヤーなどの他の外部機器からの音楽を、本機のスピーカーで楽しむことができます。外部機器を接続する前に、各機器の電源が入っていないことを確認してください。詳細については、接続する外部機器の取扱説明書を参照してください。

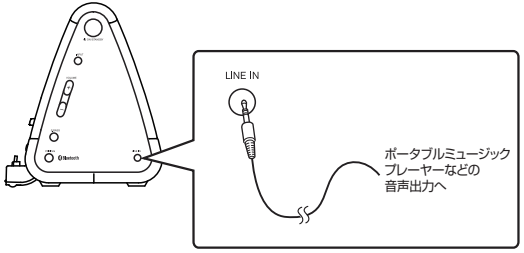
1 **オーディオ接続ケーブル（別売り）を使用して、本機の側面にある LINE IN ジャックと外部機器のライン出力ジャックを接続します。**

2 **接続している外部機器の電源を入れます。**

3 **⏻ ボタンを押して、本機の電源をオンにします。**

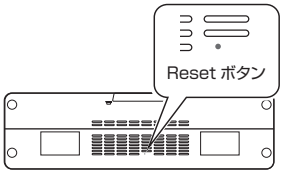
4 **INPUT（インプット） ボタンを何度か押して、LINE IN モードに切り替えます。接続している外部機器からの音声が本機のスピーカーから出力されます。**

- ソースインジケーターが緑色に点灯します。



## 困ったときは

**本機が動かない**
- 本体底面の Reset 刻印の横にある Reset ボタンを、細い棒のようなもので押してください。
- 電源コードをコンセントから抜き、10 秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。
- 電源オン中、INPUT セレクタを LINE IN モード（緑のインジケーターが点灯）に切り換え、リモコンの REPEAT ボタンを押したままにしてください。



本体底面

**本機の電源が途中で切れる**
- 本機は節電モードが働きます。次の場合は自動的にスタンバイになります。
  - iPod モードや Bluetooth モードの時、停止状態で 10 分間操作しなかった
  - LINE IN モードで 10 分間入力信号が無かった

  このような場合は再度、本機の電源をオンにして、音声を再生してください。

**電源が入らない**
- AC アダプタがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。(P.7)

**本機のボタンが機能しない**
- AC アダプタを取り外してから再度接続して、本機の電源を入れ直してください。(P.7)

**音声が出力されない**
- 本機に接続されている iPod や外部機器の音量が最小になっていないことを確認してください。
- 消音になっていないことを確認してください。(P.9)
- リモコンまたは本機の VOLUME +/−ボタンで音量を調節してください。(P.8、9)

**iPod から音声が出力されない**
- iPod との接続を確認してください。(P.9、10)

**iPod の操作が実行されない**
- iPod との接続を確認してください。(P.9、10)
- iPod を再起動してください。

**iPod の充電ができない**
- iPod との接続を確認してください。(P.9、10)
- AC アダプタがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。(P.7)

**Bluetooth 接続を確立できない**
- 本機とご使用の機器との間で最初に Bluetooth 接続を確立する際に接続に失敗する場合は、ご使用の機器の電源を入れ直して機器名をクリアしてから、再度 Bluetooth 接続を確立してください。(P.11、12)

**ドッキングトレイが閉じない**
- SLIDE TO CLOSE を矢印の向きに切り替えてください。(P.10)

**リモコンが機能しない**
- 電池が正しく装着されていることを確認してください。(P.7)
- リモコンの電池が消耗している場合は、新しいものに交換してください。(P.7)
- リモコンを本機に近づけて操作してください。(P.6)

## 仕様

**■総合**

| | |
|---|---|
| 実用最大出力： | 24 W　2 ch, 6 Ω<br>（THD+N 10 %以下、2 ch 駆動時（同時駆動）） |
| 電源・電圧： | AC 100 〜240 V、50/60 Hz |
| 消費電力： | 24 W |
| 無音時消費電力： | 4.8 W |
| 待機電力： | 0.3 W |
| 最大外形寸法： | 450 mm（幅）×176 mm（高さ）×131 mm（奥行） |
| 質量： | 3.5 kg |
| アナログ入力： | LINE（1系統） |

**■アンプ部**

| | |
|---|---|
| 統合ひずみ率： | 0.5 %（1 kHz 1 W） |
| ダンピングファクター： | 15（Front、1 kHz, 8 Ω） |
| 入力感度／<br>インピーダンス： | 1000 mV/ 47 k Ω（LINE） |
| 周波数特性： | 40 Hz 〜20 kHz/+ 3 dB, - 3 dB |
| トーンコントロール<br>最大変化量： | + 4 dB, 80 Hz（S. BASS 1）<br>+ 8 dB, 80 Hz（S. BASS 2） |
| SN 比： | 76 dB（LINE、IHF-A） |

**■スピーカー部**

| | |
|---|---|
| スピーカー適応<br>インピーダンス： | 6 Ω |
| スピーカー出力： | 内蔵スピーカー2 ch |
| タイプ： | フルレンジバスレフ |
| ユニット： | 10.5 cm コーン |

**■Bluetooth**

| | |
|---|---|
| バージョン： | 2.1 + EDR |
| プロファイル： | A2DP 1.2, AVRCP 1.0 |

※仕様および外観は予告なく変更することがあります

ONKYO

# オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

**■製品についてのご相談、カタログのご請求**

| | |
|---|---|
| お客様ご相談窓口 | **オーディオコールセンター**　受付　10:00 ～ 18:00（土・日・祝、弊社休業日を除く）<br>※WEB：http://www.jp.onkyo.com/support/<br>※TEL：050-3161-9555　※ FAX：072-831-8124<br>※住所：〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町 2-1　オンキヨーサウンド&ビジョン株式会社　オーディオコールセンター |

**オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページ。 → http://www.jp.onkyo.com/support/audiovisual/**

**快適なオーディオライフをサポートするセレクトショップ。 → http://onkyodirect.jp/**

修理のご依頼は、取扱説明書の「困ったときは」、「故障かな?と思ったときは」または「故障?と思ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。
転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

**■修理、部品・付属品についてのご相談、ご依頼**

| | |
|---|---|
| 修理窓口 | **首都圏サービスセンター**　受付　10:00 ～ 18:00（土・日・祝、弊社休業日を除く）<br>※TEL：050-3161-9555（オーディオコールセンター）※ FAX：03-5819-2940<br>※住所：〒130-0004　東京都墨田区本所 2 丁目 16-5　京王本所ビル 6 階 |
| | **大阪サービスセンター**　受付　10:00 ～ 18:00（土・日・祝、弊社休業日を除く）<br>※TEL：050-3161-9555（オーディオコールセンター）※ FAX：072-831-8124<br>※住所：〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町 2-1 |

- 050-3161-9555（オーディオコールセンター）で集中受付を行っています。
- 全国サービス拠点一致（認定店含む）は、オンキヨーホームページにてご案内しております。
  http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
  認定店は、不在の場合もございますので、持ち込み希望のお客様はオーディオコールセンターへご確認ください。

2011 年 1 月現在　お客様ご相談窓口・修理窓口の名称、受付時間、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。
（http://www.jp.onkyo.com/support/ で最新の名称、受付時間、所在地、電話番号をご覧いただけます）

## 修理について

**■保証書**
保証書は、本取扱説明書に付属しています。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

**■調子が悪いときは**
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、接続コードを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　SBX-200
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

**■オンキヨー修理窓口について**
詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

**■保証期間中の修理は**
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

**■保証期間経過後の修理は**
お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

**■補修用性能部品の保有期間について**
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ONKYO

# 製品保証書

**持ち込み専用保証書**

本書は、本書記載内容で修理に代え、無償にて製品の交換をお約束するものです。お買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、販売店またはオンキヨーサービスセンターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><td colspan="2">品番<br>SBX-200</td><td colspan="2">製品番号（SERIAL）<br>本体底面に記載</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客様</td><td rowspan="2">お名前</td><td>お買い上げ日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td>保証期間<br>（お買い上げ日より）</td><td>1 年</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所 〒<br><br>電話番号　（　）</td><td colspan="2">取扱販売店名・住所・電話番号</td></tr>
</table>

ご購入時の納品書、領収書等の添付がある場合、お買い上げ日、取扱販売店名等の記載に変えることができます。

**〈無料修理規定〉**

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはオンキヨーコールセンターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーコールセンターにご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
3. ご転居、ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、オンキヨーコールセンターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   1) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   2) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   3) お客様のご要望による出張修理を行う場合の出張料金
   4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧·周波数）、水掛かり等による故障および損傷
   5) 一般家庭用以外（例えば、業務用の使用、車両·船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   6) 保証書の提示がない場合
   7) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   8) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
7. 故障·その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

※裏面の保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはオンキヨーコールセンターへお問い合わせください。

※個人情報の取り扱いについて
お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

**修理メモ**

## ONKYO ユーザー登録のおすすめ

**オンキョー製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。**

オンキョーは、ユーザーの皆様により快適な製品サービスを提供するために、ユーザー登録を行っています。
お手数ですが、ご登録とアンケートにご協力をお願いいたします。

**ユーザー登録いただきますと・・・**

- メールアドレスをご登録いただくことで、E メールによる製品サポート情報、製品関連情報をいちはやくお届けいたします。
- ご希望により、onkyodirect.jp オンラインショップから情報メールをご案内いたします。
- オンキョー運営関連サイトを便利にご利用いただくことができます。

弊社ホームページからご登録ください！
**http://www.jp.onkyo.com/support/**

- ご登録の際には、本体底面に記載の製造番号（SERIAL）をご用意ください。

※ご登録いただいたお客様情報がオンキョーのサービス以外の目的で使用されることはありませんので、ご安心ください。

## Memo

ONKYO

**オンキヨーサウンド&ビジョン株式会社**
〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

D1110-3

SN 29400960B

(C) Copyright 2011 ONKYO SOUND & VISION CORPORATION Japan.
All rights reserved.

*29400960B*